

I J 学級通信

西東京市立青嵐中学校
校長 古家 新一
I J 学級 学級通信 No.34
令和6年3月19日(火)

令和5年度 第58回 卒業式 祝 I J 学級卒業



3月19日(火)に卒業式が挙行されました。

I学級8名J学級3名、計11名の3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業カウントダウンが始まってから卒業ムードが高まり、何をやるにも「最後の」という言葉がつくようになりました。これまでは気にも留めていなかった何気ない日常が、実はとても大切な時間だったということを実感していく日々でした。

この三年間には、語りつくせない青春の日々が詰まっています。喜びも悲しみも、楽しかったことも、悩み葛藤し悔しい思いをしたことも、全てが今の皆さんの糧になっています。入学した時から「楽しみは行動の先に」を合言葉に、みんながそれぞれのペースで歩み続けてきました。何をやるにも「楽しみ」を見出し、そのために「行動」し続けることができた皆さんを心から誇りに思います。本当に素晴らしい集団に育ちました。そんなみんなと一緒に歩んでこられたこの三年間は、掛け替えのない宝です。みんなはすごい。自信をもって、胸を張って、次のステージでも楽しみのために行動し続ける人であってください。またどこかで会いましょう。ずっと応援しています！

「後輩たちへ」 来年度 I J 学級をさらに良くするために

- 暴言を吐かない 敬語を使う (SI さん)
- やるときはやる (SU さん)
- 思いやりと先輩としての責任が大切 (NK さん)
- 人の嫌がることをしない (KT さん)
- 頑張ってください (YT さん)
- 年下は年上を先輩と呼ぶことです (RT さん)
- メリハリをつけること きちんとするところと盛り上がることを明確に (HF さん)
- 思いやり 悪いことを教えない 先輩としての自覚をもつ (SM さん)
- 放課後に友達を誘って遊ぶ 早寝 (OS さん)
- 楽しむ時と集中する時のメリハリを付ける (KH さん)
- 協調性 いざという時に静かにしてちゃんと話を聞く (MY さん)

「門出の言葉」J学級 KHさん

私達が青嵐中学校に入学したばかりの頃は、小学校の時とは違い、ルールの多い中学校生活に中々慣れることができませんでした。私は人前に出る事が苦手であったため、毎日緊張しながら過ごしていました。

また、委員会には絶対に入りたくないと思っていたため、初めての委員会決めの日にはわざと学校を休んでしまいました。自分がやりたくないことからはいつも逃げて、当時の私は、苦手な事に背を向けてばかりでした。

しかし、二年生になり先輩としての自覚をもった私は、今まで苦手な事から逃げてきた自分が悔しくなり、そんな自分を変えたいと思うようになりました。そして、勇気を振り絞り、委員会活動に挑戦したり、朝、クラスの友達にあいさつをしたりと、自分なりの努力をしました。

委員会では、いつもと違う空間にいただけで緊張していましたが、回数をこなしていく内に少しずつ余裕がもてるようになり、人前で発言する事にも慣れていきました。周りのみんなも自分を変えたいと思う気持ちが強くなり、実行委員など、委員会活動にも積極的に参加するようになっていきました。

制限が緩和され、行事を思いきり楽しめた三年生。修学旅行では、特に夕食の時間が想像していた以上に楽しく、みんなと喋りながらの食事はあたたかくて幸せな気持ちでいっぱいでした。

合唱コンクールでは、初めは指揮も伴奏も合わず形になっていませんでした。ですが、放課後も練習を重ね、本番では素晴らしい合唱を披露することができました。

劇と音楽の会では、短い期間の練習ではありましたが、それぞれの個性を発揮して今までで一番の最高の劇を創り上げることができました。J学級が一つになった行事だと思います。

たくさんの行事の中で、人前に出る機会が多かったからこそ私はここまで成長することができました。苦手なことが多くある私達でしたが、目標に向かってコツコツ頑張る力、そして、仲間と協力して乗り越える力を身に付けました。

J学級のみんなと過ごしてきた日々は、私達にとって大切な宝物です。三年間お世話になった先生方、ここまで私達を支えてきてくださって本当にありがとうございました。いつも頼ってばかりであったお父さん、お母さんには感謝しかありません。高校へ行っても助けを求める事はあると思いますが、苦手な事にもしっかりと向き合えるよう精一杯頑張ります。



画：KHさん